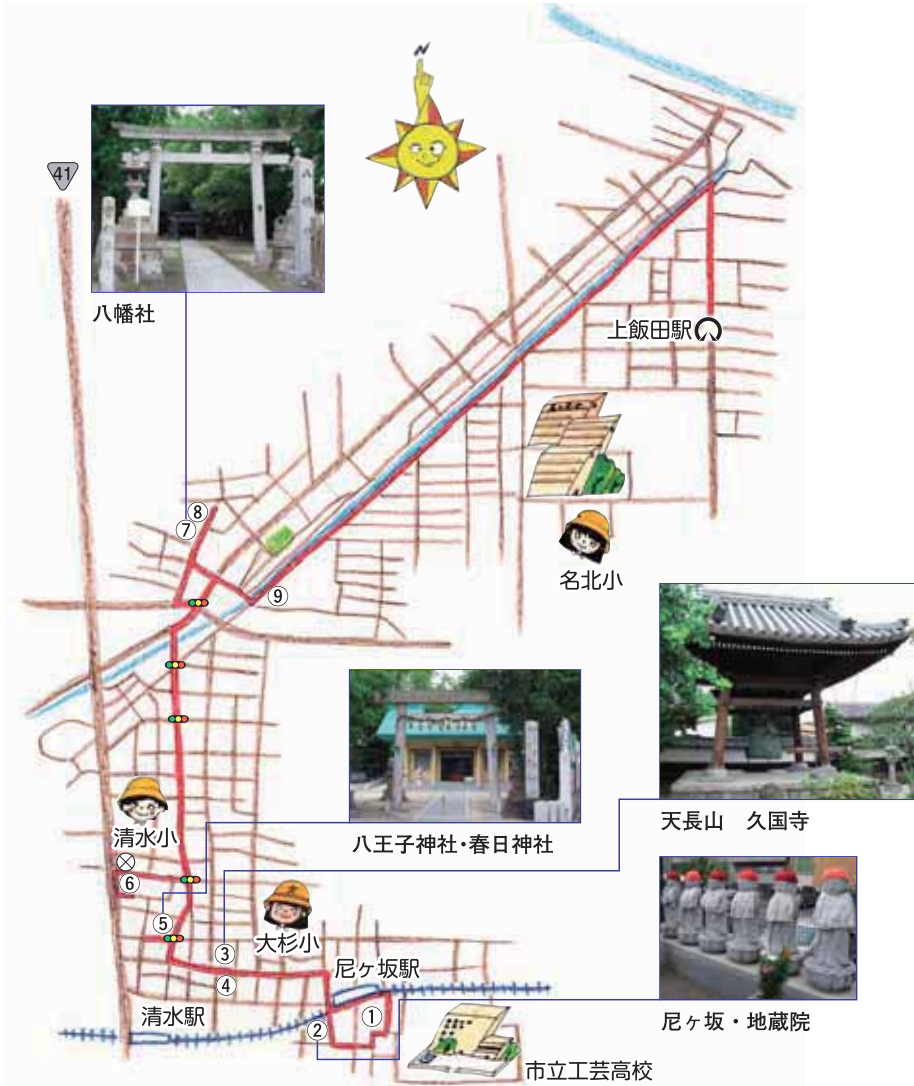


2 御用水跡散策コース

約 4.5 km

坊ヶ坂を上り、片山神社、地蔵院をめぐって緑深い尼ヶ坂を下り、その昔、杉が立ち並び、源氏螢が飛びかっていたという御成道。室町時代の六地藏を有する安栄寺を経て、御用水跡街園までの散策路。



① 片山神社

役の行者創祀の説があり、お蔵王さまと呼ばれる。ひのき、けやき、いちょうの古木多く蔵王の森の名残りをとどめる。神杉の上枝と下枝のさす地が、上飯田、下飯田になったといわれる。



② 尼ヶ坂・地蔵院

付近は、尼ヶ坂近道といい通行人がよく辻斬りにあった。その霊を弔うため、久国寺の八代霊梅笑山が、門前の六地藏のうち一体を移し、まつたのが始まりという。

③ 天長山 久国寺

名古屋城の鬼門除けとして、本丸天長峰の名を借りて号とした。境内に、自然石の快台塚と白梵塔があるほか、岡本太郎作の梵鐘がある。



④ 御成道

尾張藩主が、大曾根下屋敷へ往来した道で、鷹匠町通りともいった。明治から大正にかけて、名古屋師団の兵士が小幡ヶ原方面へ行進した道のため、兵隊道とも呼ばれた。

⑤ 八王子神社・春日神社

もとは那古野の庄にあったものを、名古屋城築城に際し遷地。古来より、小児の守り神として参詣者が多い。神社西南に、明治天皇御小休所の標柱がある。



⑥ 楞伽山 解脱寺

明暦3年(1657)、犬山城主が建てた薬師堂・小庵が始まり。招かれた竹天和尚は、竹葉軒長虹と名のる俳人。境内に俳聖芭蕉の句碑「粟禪塚」がある。



⑦ 八幡社

通称児子宮といい、末社の児子社は古来より虫封じの神として信仰が深い。代々尾張藩主も、幼少時に虫封じをさずかったといわれる。

⑧ 大聖山 安栄寺

名古屋城の鬼門除けとして、城内から大聖不動明王が奉遷されている。境内に、室町時代の様式をもつ市指定文化財六地藏石仏がある。上下二段に三体ずつ浮き彫りにした小さな石仏である。



⑨ 御用水跡街園

尾張藩時代に用水路としてきり開かれたが、埋めたてられ、昭和48年、夫婦橋から猿投橋までの約1.6km、黒川岸の桜とともに、緑の散歩道として生れ変わった。

